



## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社ヘッドウォーターズ 上場取引所 東  
 コード番号 4011 URL <https://www.headwaters.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠田 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 原島 一隆 (TEL) 03-5363-9361  
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年12月期第3四半期の業績 (2021年1月1日~2021年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	855	△3.9	58	△65.1	60	△60.8	10	△91.9
2020年12月期第3四半期	889	—	166	—	153	—	128	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第3四半期	11.32		10.11					
2020年12月期第3四半期	156.59		—					

- (注) 1. 当社は、2019年12月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第3四半期の前年同四半期増減率は記載しておりません。  
 2. 2020年9月29日に東京証券取引所マザーズに上場しましたが、2020年12月期第3四半期の末日までに初値が形成されなかったことから、2020年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	919	783	85.2
2020年12月期	936	756	80.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 783百万円 2020年12月期 756百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,154	0.1	75	△55.5	77	△50.4	23	△84.9	24.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	936,200株	2020年12月期	922,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	—株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	925,212株	2020年12月期3Q	823,530株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東京オリンピック・パラリンピックの開催による景気浮揚の期待がありながらも、新型コロナウイルス感染症のさらなる感染拡大により経済活動が大きく制約され、企業収益や個人消費の減退など極めて厳しい環境で推移しました。政府による度重なる緊急事態宣言の発令、延長がなされた一方で、ワクチン接種率の向上に合わせて感染者数も減少し経済活動に回復の兆しが期待されます。

このような経済環境の中、当社が属する業界においては、社会へ普及が進む人工知能(AI)やデジタル化(DX)の推進、インターネットやスマホアプリを活用したサービスなど引き続き各産業で高い需要があるものと予測されます。

当第3四半期累計期間におきましては、引き続き幅広い業界からAIソリューション事業の需要があり、当社の強みである一気通貫モデルの案件が複数並行で推進されております。

AIインテグレーションサービスにおいては、画像解析や機械学習、言語解析などのAI技術を活用して業務の効率化を図り、スマートスピーカーやスマートフォンアプリなどと連携する案件が順調に推進されております。新規顧客からの受注を獲得するのみならず、既存顧客からの受注も伸ばし、売上高は323,024千円(前年同期比9.7%増)となりました。

一方で、既存のDX(デジタルトランスフォーメーション)サービスにおいては既存顧客からの定期的なシステム投資が動き出した他、マイクロソフト社が提供するPowerPlatform案件を利用した業務効率化案件は引き続き高い需要を維持しており、売上高は375,311千円(前年同期比18.9%減)となりました。

また、プロダクトサービスやOpsサービスにおいては、継続案件によって案件の積み重ねを確実に実行できており、プロダクトサービスの売上高は46,057千円(前年同期比11.2%減)、Opsサービスの売上高は110,839千円(前年同期比37.5%増)となりました。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は855,232千円(前年同期比3.9%減)と、営業利益は58,272千円(前年同期比65.1%減)、経常利益は60,058千円(前年同期比60.8%減)、四半期純利益10,470千円(前年同期比91.9%減)となりました。

当社では、AIを活用し更なる顧客サービスの実現を目指すAIソリューション事業の単一セグメントで推進しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して16,969千円減少し、919,943千円となりました。流動資産は前事業年度末と比較して6,276千円減少し、889,550千円となりました。主な要因は、売掛金が26,917千円、仕掛品が7,016千円増加したものの、現金及び預金が39,888千円減少したことによるものであります。固定資産は前事業年度末と比較して10,692千円減少し、30,393千円となりました。主な要因は、投資その他の資産10,211千円の減少によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比較して44,189千円減少し、136,212千円となりました。主な要因は、未払金が2,088千円増加したものの、買掛金11,840千円、未払消費税等11,401千円、未払法人税等20,793千円、前受金1,872千円の減少によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比較して27,220千円増加し、783,731千円となりました。主な要因は、新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ8,375千円、四半期純利益の計上による利益剰余金10,470千円の増加によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年8月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	753,495	713,607
売掛金	124,724	151,641
仕掛品	6,768	13,784
前払費用	10,776	9,387
その他	62	1,128
流動資産合計	895,826	889,550
固定資産		
有形固定資産	11,948	11,466
投資その他の資産	29,137	18,926
固定資産合計	41,086	30,393
資産合計	936,912	919,943

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	79,251	67,411
未払金	9,931	12,020
未払費用	33,703	31,726
未払消費税等	24,747	13,345
未払法人税等	20,793	—
前受金	2,218	346
預り金	9,755	10,606
受注損失引当金	—	755
流動負債合計	180,401	136,212
負債合計	180,401	136,212
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	354,266	362,641
資本剰余金	344,266	352,641
利益剰余金	57,979	68,449
株主資本合計	756,511	783,731
純資産合計	756,511	783,731
負債純資産合計	936,912	919,943

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	889,858	855,232
売上原価	446,111	469,019
売上総利益	443,747	386,213
販売費及び一般管理費	276,867	327,940
営業利益	166,879	58,272
営業外収益		
受取利息	3	7
還付消費税等	26	—
助成金収入	—	171
固定資産受贈益	—	1,568
その他	9	39
営業外収益合計	39	1,785
営業外費用		
支払利息	60	—
支払保証料	56	—
為替差損	188	—
上場関連費用	13,380	—
その他	206	—
営業外費用合計	13,891	—
経常利益	153,027	60,058
特別損失		
投資有価証券評価損	—	30,030
特別損失合計	—	30,030
税引前四半期純利益	153,027	30,028
法人税、住民税及び事業税	24,074	9,539
法人税等調整額	—	10,018
法人税等合計	24,074	19,557
四半期純利益	128,953	10,470

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。